

Hyper S-Stage + D KIT C Type (106cc / SCUT / デコンプ) 取扱説明書

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。

・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号 : 01-05-0249
CRF50F : AE03-1400001 ~
XR50R : AE03-1000001 ~

～特徴～

○デコンプレッサー機構付きカムシャフトを採用することで、106cc化されたS-Stage(SCUT)ボアアップキットでも、ミッションやキックシャフト等への負担を軽減する事が出来、従来より軽いキック力でのエンジン始動が可能になりました。シリンダーにはオイルジェットを設け、ピストン、コンロッドの潤滑や冷却を行います。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はCR8HSA (NGK) または、U24FS-U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

▲ 当キット使用についてのご注意 ▲

本キット取り付けには、強化クラッチ（フリクション3枚タイプ以上の物）と強化オイルポンプが必要となります。

※この取り付け部品をつけていない場合、保証の対象にはなりません。

▲ スプロケットについてのご注意 ▲

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

☆ ご使用前に必ずお読み下さい ☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

◎シリンダー部より聞こえてくる音が大きく感じる事があります。

◎外気温が高い場合はオイルクーラーの取り付けと使用をお勧めします。

◎付属のエアフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。エンジン不調の原因となりますのでご注意下さい。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物理的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いことを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行ってください。

・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

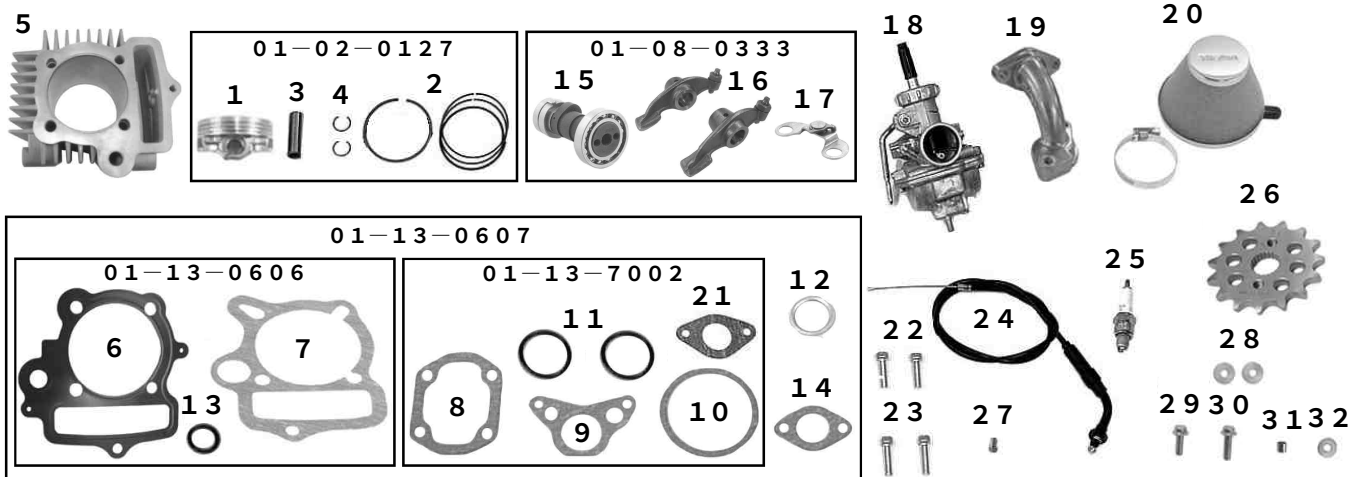
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

- ◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させていただきます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- ◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

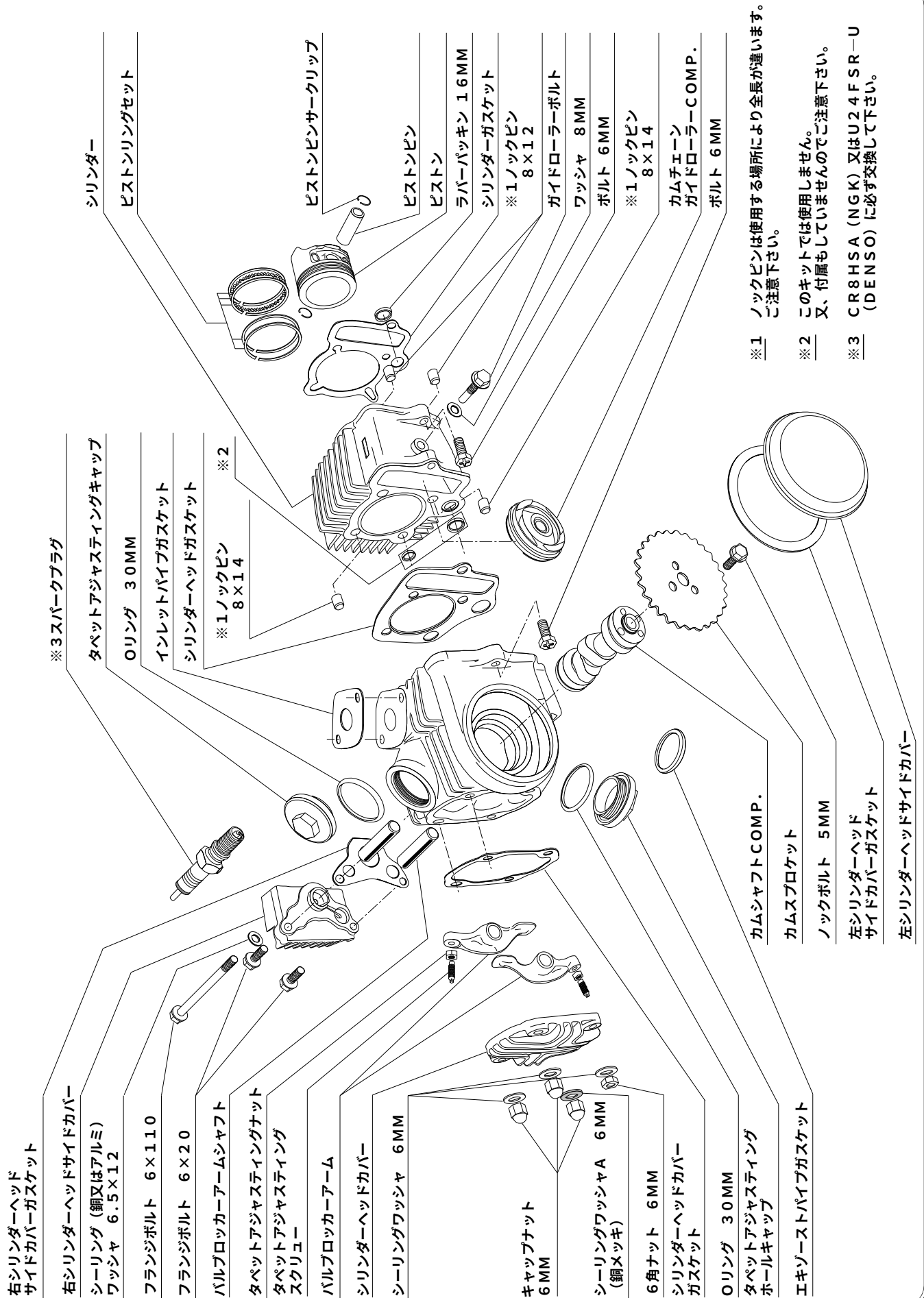
Lesson

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
- ◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。
- ◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてどれぐらいの力で締めるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

◇キット内容



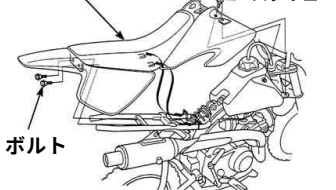
各部品名称



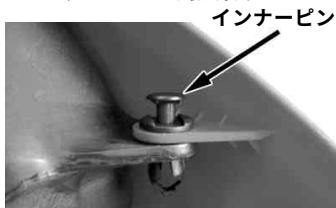
STD部品取り外し

1. 外装部品を取り外す

シート/シュラウド/
リアフェンダーASSY.



◇トリムクリップ2本、スクリュー2本、ボルト2本を取り外し、シート/シュラウド/リアフェンダーASSY.を取り外す。



◇トリムクリップはインナーピンをマイナスドライバー等で上げると取り外せる。

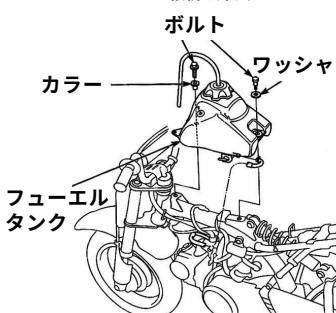
使用工具
オフセットレンチ 10mm
ドライバープラス 中



◇フューエルロックをOFFにする。



◇チューブクリップをずらし、キャブレターのフューエルチューブの接続を外す。



◇キャブレターからフューエルホースを外し、ボルト2本を取り外してフューエルタンクを取り外す。

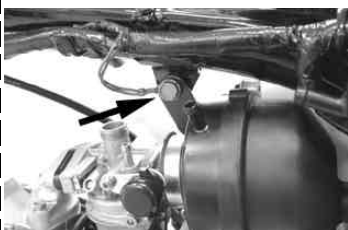
2. キャブレターを取り外す



◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取る。



◇ストレージタンクのホースを抜き取る。



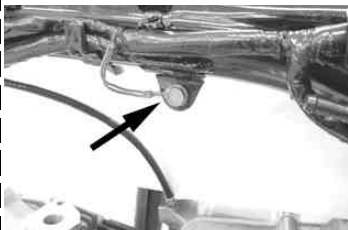
◇エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー 小



◇インレットパイプをシリンダーヘッドにどめているボルト2本を取り外しインレットパイプ、キャブレター、エアクリーナーを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 8mm



◇アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付ける。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー 小

規定トルク 12 N・m (1.2 kgf・m)

3. マフラーを取り外す



◇EXパイプ部のナット2個を取り外す。

使用工具
スパナレンチ 10mm



◇マフラスターのボルトを取り外し、マフラーを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 12mm

4. フロントフェンダーを取り外す



◇裏側のボルト3本を取り外し、フロントフェンダーを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー 小

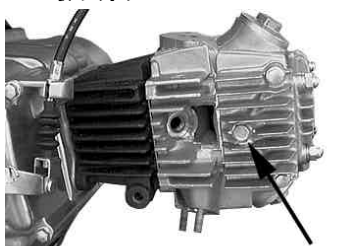
5. スパークプラグを取り外す



◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外すこと。

◇車載工具のスパークプラグレンチを使いプラグを取り外す。

6. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2〜3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)

使用工具
ソケット 10mm

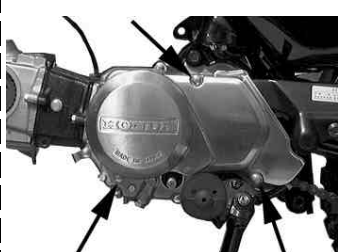


7. クランクケース左カバーを取り外す



◇シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 10mm



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り外す。

使用工具
ディープソケット 8mm

8. タペットキャップ2個を取り外す



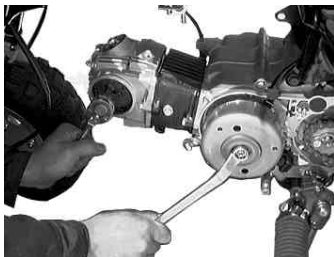
◇タペットキャップ2個を取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 17mm

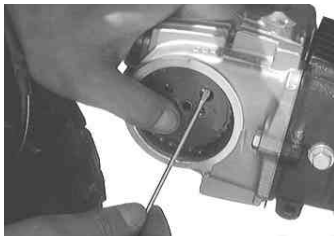
9. カムスプロケットを取り外す



◇フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

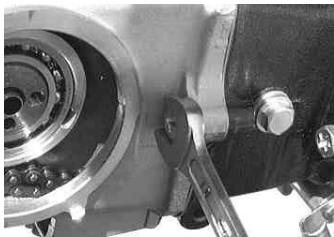


◇フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト2個を取り外す。
使用工具
ソケット 8mm
オフセットレンチ 14mm (フライホイール固定用)



◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。
◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

10. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。
使用工具
スパナレンチ 10mm

ガイドローラーボルト



◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを緩める。

使用工具
スパナレンチ 10mm
オフセットレンチ 10mm

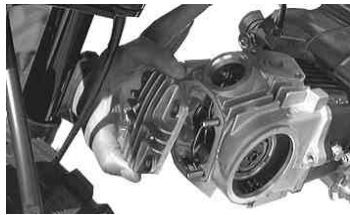
11. シリンダーヘッドカバーを取り外す



◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に取り外す。

◇ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

使用工具
ソケット 10mm

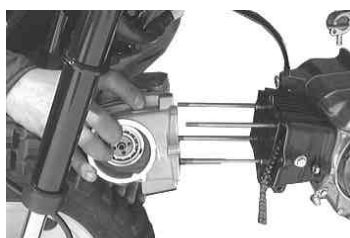


◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す) シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーやカッター等できれいに取り除く。

12. シリンダーヘッドを取り外す



◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)

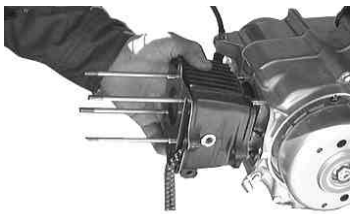


◇シリンダーヘッドを取り外す。
◇ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

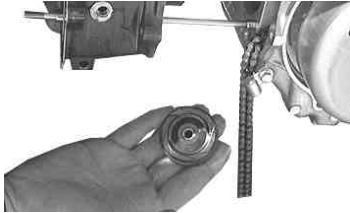
13. シリンダーを取り外す



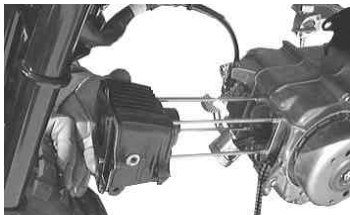
◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



◇ピストンが抜けたらシリンダーを前方へ取り外す。

14. ピストンを取り外す



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



◇ピストンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れる。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

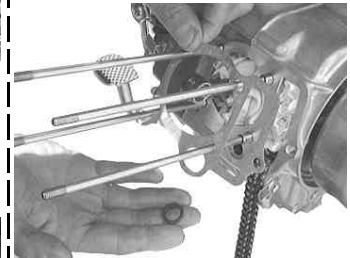
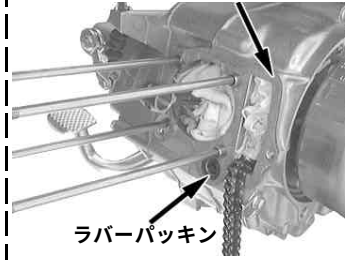


◇ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



◇ピストンを取り外す。

15. 取り付け面をきれいにする シリンダーガスケット

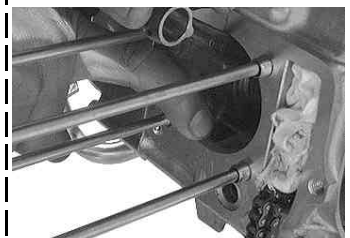


◇シリンダーガスケットやラバーパッキンを取り除く。

◇ガスケットがきれいにはがれない場合は、スクレーパーやカッターナイフできれいに取り除く。

◇この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。

※クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



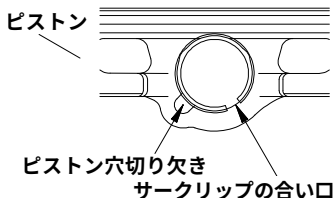
◇上写真の指し部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

S-StageKIT 取り付け

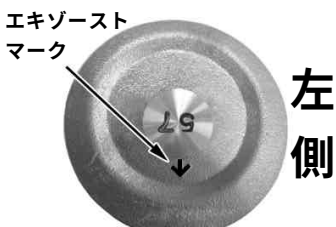
1. ピストンを組み付ける



※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。



◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。



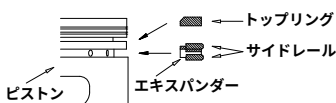
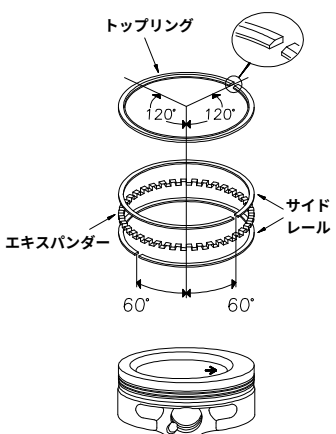
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。

◇ピストンピンサークリップは左側を先にはめ込みます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー

◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる



断面に注意！！



◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。

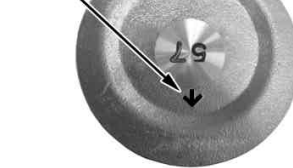


◇トップリングを入れる。



◇ピストンピン部とコンロッド小端部にエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。

エキゾースト
マーク



◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。



◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けの簡単な方法ではある。

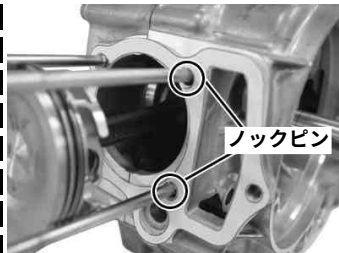
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う事。

目に入らぬように防護めがねなどを着用する事。

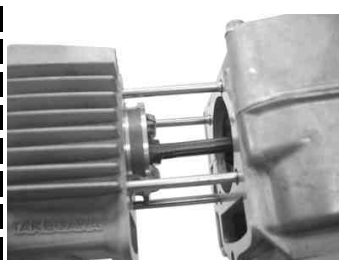
◇詰っていたウエスを取り外す。



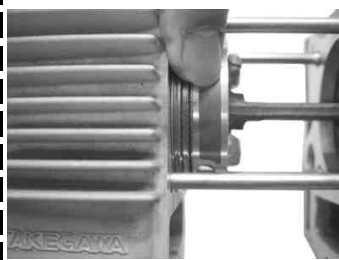
◇ピストンピン2個が取り付けられているか点検。



◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。

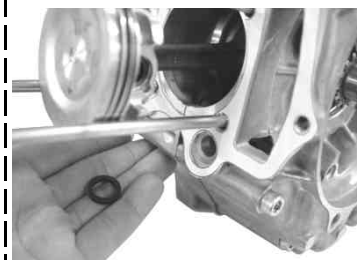


◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



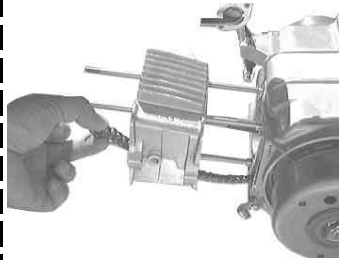
2. シリンダーの取り付け

◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

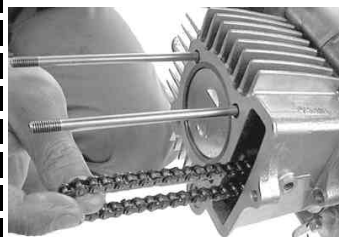


◇シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。

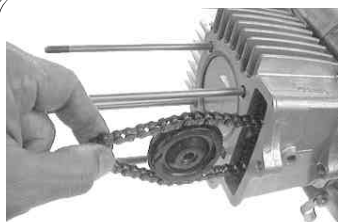
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し1本づつはめる。



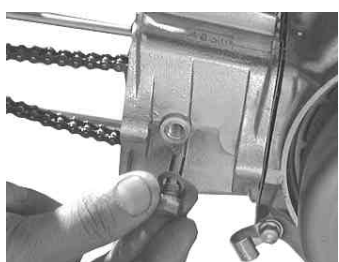
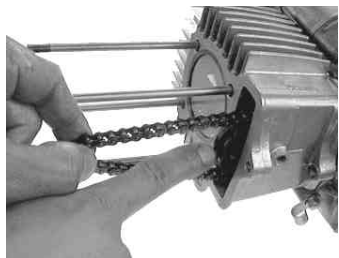
◇ピストンがシリンダーにはいたらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースに取り付ける。



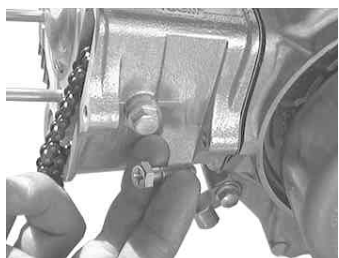
◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
(指で閉まる程度まで仮止め)

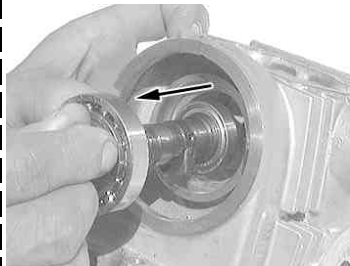
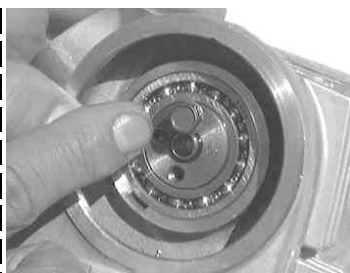


◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。
(指でしめる程度まで仮止め)

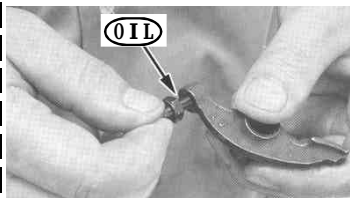
3. カムシャフト交換



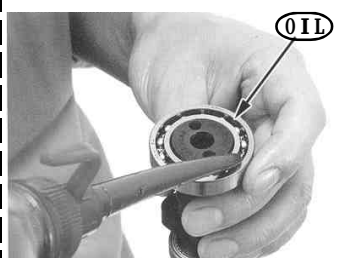
◇オリジナルのシリンダーヘッドのロッカーアームシャフトとロッカーアームを取り外します。



◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のロッカーアーム、アジャストボルトにエンジンオイルを塗布します。



◇専用のカムシャフトの両端のベアリングにエンジンオイルを塗布します。



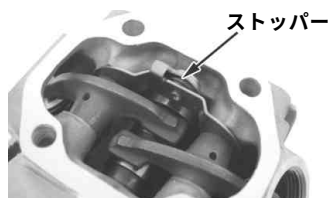
◇カム山にモリブデン溶液を塗布します。



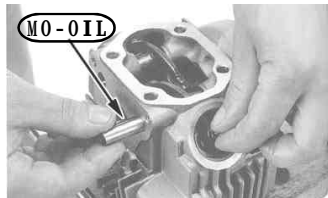
◇キットのシリンダーヘッドにカムシャフトをセットします。



デコンプカムのストッパー部は燃焼室側に向けておきます。



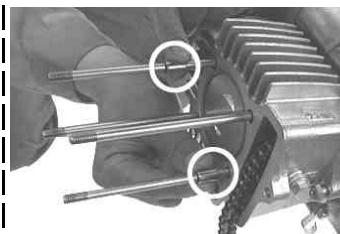
◇シリンダーヘッドにキット内のストッパープレートのストッパー部をシリンダーヘッド右側に向け、ロッカーアームと共にセットします。



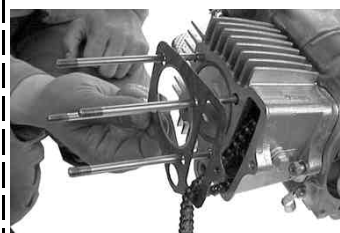
◇オリジナルのロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、ロッカーアームシャフトのネジ部を外側に向け、ロッカーアームとストッパープレートの穴位置を合わせ、ロッカーアームシャフトを取り付けます。

4. シリンダーヘッド取り付け

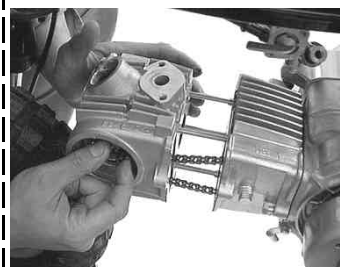
◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシナー等で脱脂する。



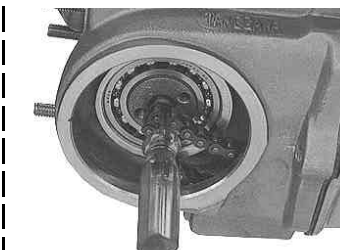
◇シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



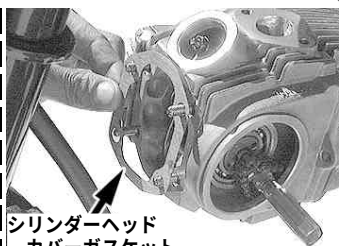
◇ヘッドガasketを取り付ける。



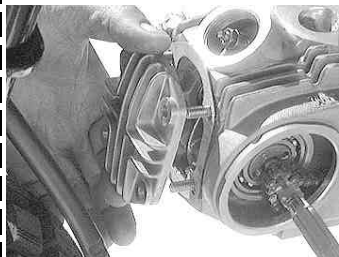
◇シリンダーヘッドをスタットボルトに通す。
◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付け。



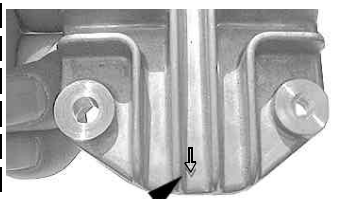
◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。

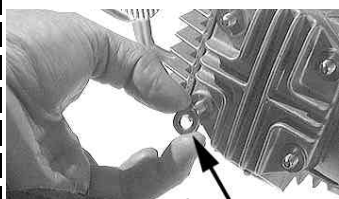


◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



上下マークに注意

◇矢印は下の方向 (排気側) になること。



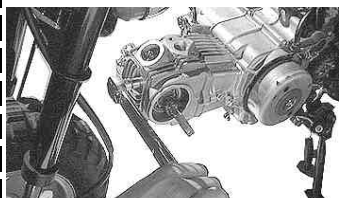
銅ワッシャ

◇ヘッドカバーのワッシャを位置に注意して取り付け。(エンジンを前から見て左下に銅ワッシャがくること。)



6角ナット

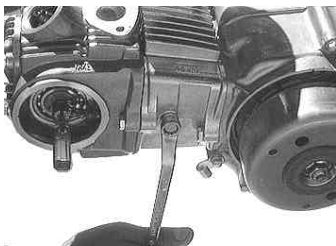
◇ヘッドナットを位置に注意して取り付け。(エンジンを前から見て右下に6角ナットがくること。)



◇ヘッドナットを均等に締め付ける。
(トルクレンチがない場合は対角に少しずつ締め付ける)
使用工具
ソケット 10mm
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。
使用工具
スパナレンチ 10mm
オフセットレンチ 10mm



締め付けトルク
ガイドローラーボルト
10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
10N・m (1.0kgf・m)

5. カムスプロケットの取り付け

切り欠き

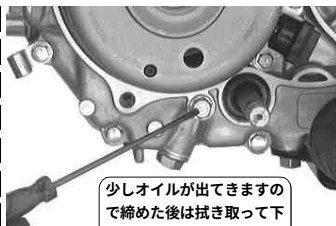


◇フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



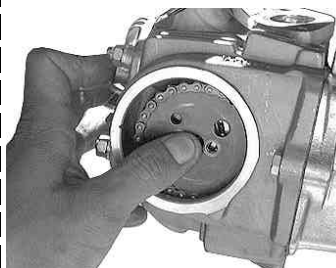
◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向くようにカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従ってください。



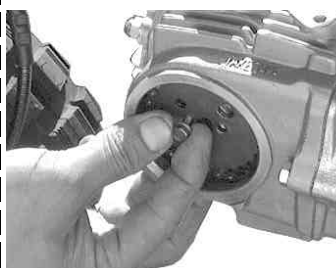
少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

◇チェンジベダルのシャフトの横にある6角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンションナーが緩むので、はめやすくなる。

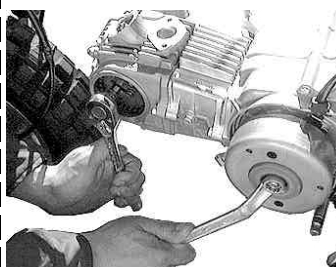


※ここは難易度が高いのでがんばろう。

◇カムスプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



◇カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。



◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。

使用工具
ソケット 8mm
オフセットレンチ 14mm
締め付けトルク 9N・m (0.9kgf・m)



◇先程、取り外したチェンジベダルシャフト横の6角ボルトを取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
締め付けトルク 10N・m
(1.0kgf・m)

6. タペットすき間の調整

ここは難易度が高いです。がんばってください。

切り欠き



Oの刻印

シリンダーヘッド側

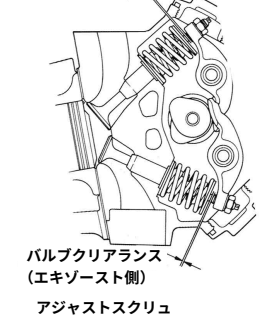
切り欠き



フライホイール側

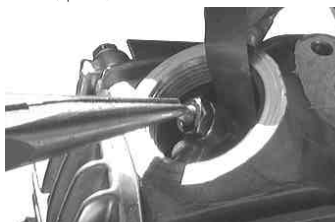
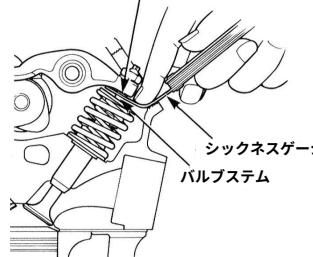
◇カムシャフトのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切り欠きに合うようにして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないうえカムスプロケットを取り付けてTマークとOマークが同時に合えばOK。

バルブクリアランス
(インテーク側)



バルブクリアランス
(エキゾースト側)

アジャストスクリュー

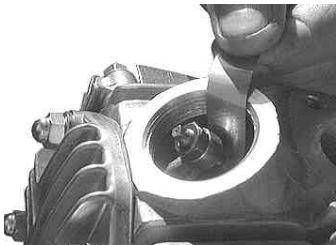


◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける(少し抵抗があるというのわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる) I.N.E X共に0.05ミリに合わせる。

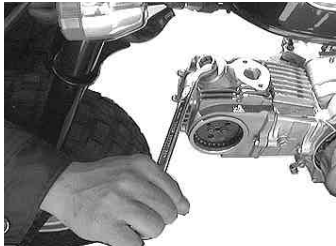
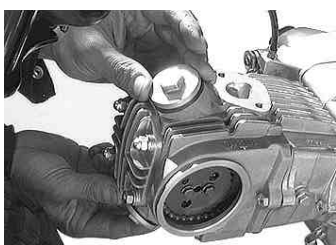
使用工具
ニードルノーズプライヤ
オフセットレンチ 9mm
シクネスゲージ



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。



◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。



◇タペットキャップ2個を取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 17mm
締め付けトルク 12N・m
(1.2kgf・m)

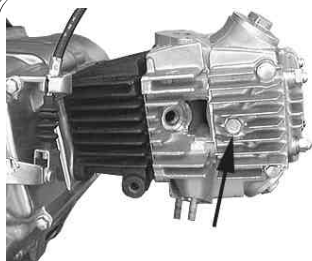
7. シリンダーヘッド左カバー取り付け



◇シリンダーヘッド左カバーガasketと左カバーを取り付ける。(左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りしないように回り止めを合わせる)

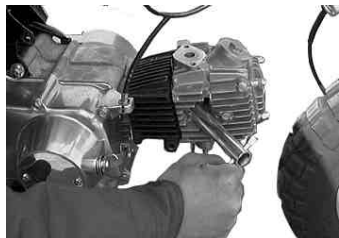


(回り止めを合わせる)



◇シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。
使用工具 ソケット 10mm
締め付けトルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

8. スパークプラグの取り付け



◇車載工具がスパークプラグレンチを使いキット内のプラグを取り付ける。
使用工具 スパークプラグレンチ
締め付けトルク $11\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.1\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け



◇マフラーを取り付け、マフラスターのボルトを取り付ける。(仮止め)
使用工具 オフセットレンチ 12mm



◇E Xパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)
使用工具 スパナレンチ 10mm
◇仮止め箇所を締め付ける。
締め付けトルク
ボルト: $26\text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.7\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
ナット: $10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

10. フロントフェンダーの取り付け



◇ボルト3本で、フロントフェンダーを取り付ける。
使用工具 ソケット 10mm
エクステンションバー 小

11. スロットルケーブルの取り付け

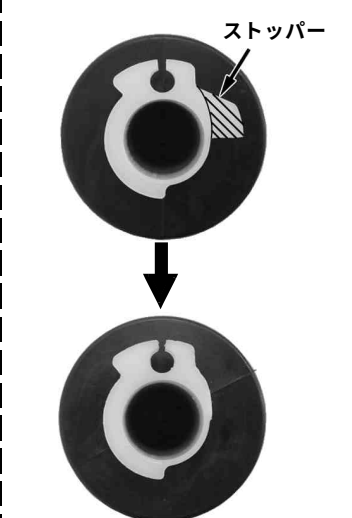
◇ノーマルスロットルケーブルのワイヤリングを外す。



◇6角ナットを緩める。
使用工具 スパナレンチ 14mm
◇スクリュー2本を外し、アッパースロットルハウジングを取り外す。



◇スロットルパイプからスロットルケーブルのインナーケーブルを外す。



◇スロットルパイプをハンドルから抜き取り、写真のようにスロットルパイプのストッパー部を加工し、取り除く。



◇ロアスロットルハウジングからノーマルスロットルケーブルを取り外す。



◇キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。



◇インナーケーブルを加工したスロットルパイプに接続する。

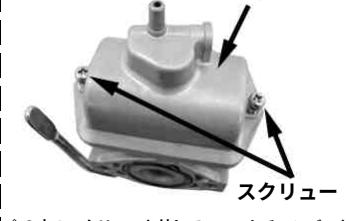


◇アッパースロットルハウジングを2本のスクリューで取り付ける。
※このとき、前側のスクリューを先に締め付け、後側のスクリューを後に締め付ける。



※ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジングの分割部をハンドルの“O”マークに合わせる。
◇スロットルケーブルのワイヤリングをする。

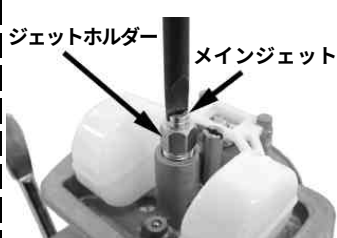
12. メインジェットの交換



◇2本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外す。
使用工具 ドライバープラス 中



※フロートピンは外れやすいので注意して下さい。



◇メインジェットをジェットホルダーから取り外す。
使用工具 ドライバーマイナス 中

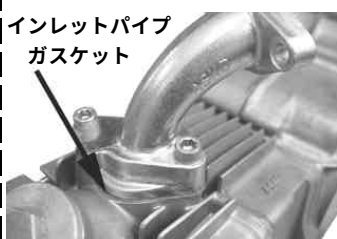


◇キットのメインジェットを取り付ける。
使用工具 ドライバーマイナス 中



◇フロートチャンバーを取り付け、2本のスクリューでキャブレターに取り付ける。

13. キャブレターの取り付け



◇インテークマニホールドとシリンダーヘッドにインレットパイプガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリュー6×2.5 2本で取り付ける。
使用工具 六角棒レンチ 5mm
締め付けトルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



キャブレター
ガスケット

◇キャブレターとインテークマニホールドにキャブレターガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリュー6×20 2本で取り付け。
使用工具
六角棒レンチ 5mm
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)



◇キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、スロットルバルブを抜き取る。



◇スロットルケーブルにトップキャップを取り付け、スプリングを入れてインナーケーブルにスロットルバルブを取り付ける。



◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに差し込み、取り付け。



◇キャブレターのくぼみにトップキャップの凸を合わせて取り付け。

14. スロットルの遊びの調整

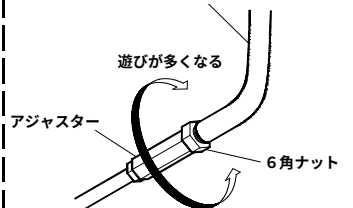


◇スロットルケーブルのブーツをめくり、アジャスターを出す。

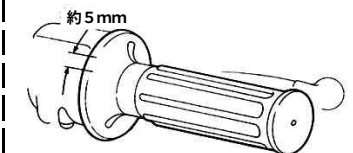


◇六角ナットを保持し、アジャスターを緩める。

使用工具
スパナレンチ 8mm
スパナレンチ 10mm
スロットルケーブル



◇アジャスターを回すと遊びが調節出来る。



◇スロットルグリップ部で5mm程度の遊びになるように調整する。

◇アジャスターを固定し、六角ナットを締め付ける。

使用工具
スパナレンチ 8mm
スパナレンチ 10mm

◇スロットルをスナップさせ、スロットルバルブがスムーズに動くか確認する。

◇ハンドルを左右にいっぱい切ってもスロットルに遊びがあることを確認する。

◇ブーツをかぶせる。

15. エアフィルターの取り付け



◇バンドをエアフィルターに付け、キャブレターに差し込む。バンドを締め付ける。



◇ストレージタンクのホースをエアフィルターに取り付ける。



◇フューエルチューブをキャブレターに接続する。

16. 外装品の取り付け

ボルト8×30

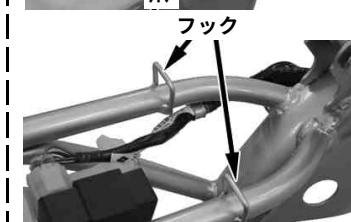
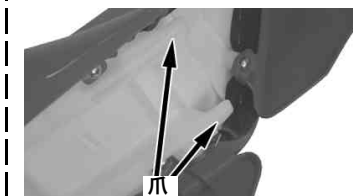


ボルト8×25

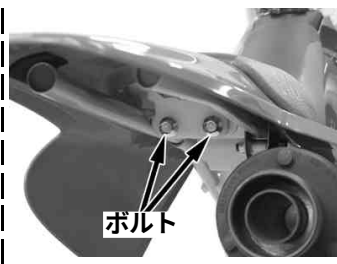


◇フューエルタンクの前方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、ボルトを取り付ける。後方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、スペーサーとキット内のワッシャを入れてボルトを取り付ける。
締め付けトルク 26 N・m
(2.7 kgf・m)

◇シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート/シュラウド/リアフェンダーASSYを取り付ける。



◇シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート/シュラウド/リアフェンダーASSYを取り付ける。

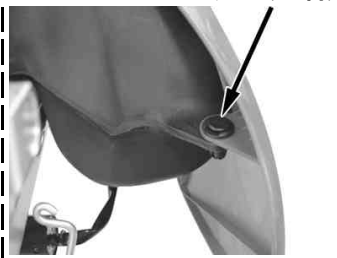


ボルト

スクリュー (左右)



トリムクリップ (左右)



◇ボルト2本、スクリュー2本、トリムクリップ2本を取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
ドライバープラス 中
締め付けトルク
ボルト : 10 N・m (1.0 kgf・m)
スクリュー : 4 N・m (0.4 kgf・m)



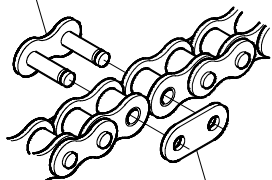
※シュラウドを引っ張りながら取り付け穴をフューエルタンクのネジ穴に合わせてスクリュー2本を取り付ける。
取り付けにくい場合は、ヤスリ等で長穴加工をして下さい。

17. ドライブ (エンジン側) スプロケットの取り付け



◇ドライブチェーンのクリップを取り外す。

マスターリンク



リンクプレート

- ◇リンクプレートとマスターリンクを取り外し、ドライブチェーンを取り外す。

※作業の際は必ずエンジンを停止すること。



- ◇リアブレーキをかけながらボルト2本を取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小



- ◇プレートを取り外す。



- ◇ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、チェーンを取り外す。



- ◇キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



- ◇車両に付いていたプレートを取り付け、ボルト2本を仮止める。

- ◇リアアックスナット、チェーンアジャスターのナットを緩めておく。

- ◇マスターリンクを内側から取り付けてドライブチェーンを接続し、リンクプレートを取り付ける。



- ◇クリップを取り付けます。

※この時、クリップの合い口は進行方向に対して逆に向けること。

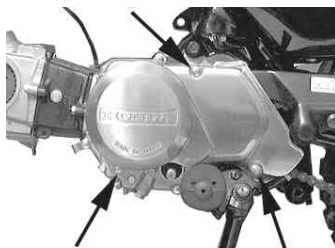


- ◇仮止めていたドライブスプロケットのボルトを本締めする。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

- ◇ドライブチェーンの調整を行う。

18. クランクケース左カバーの取り付け



8mmスパナレンチ

- ◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

使用工具
ボックスレンチ 8mm
エクステンションバー 小
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)



- ◇チェンジペダルを取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)

- ◇エンジンから足廻りまで取り付けしたボルト類に緩みがないかチェックする。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

●ご走行前に

1 使用燃料について

- ◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
- ◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。
- ◇このキットはノーマル点火時期にて使用する事に限ります。点火時期を極端に早める場合は対応しかねますのでご了承下さい。

2 取り付け必要品として

- ◇本キットを取り付け走行する際には以下の部品が取り付けが必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

2-1 オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着は必要です。

必須スーパーオイルポンプ：01-16-0053(加工工具付属)
：01-16-0052(加工工具無)

2-2 クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝えることが出来ません。必須クラッチ、強化クラッチ(SPLクラッチ含む)の装着は必要となります。

必須クラッチ：02-01-0215(強化遠心クラッチキット)
：02-01-0512(遠心からマニュアルクラッチへの交換キット)

●更なる性能を発揮させるために

1 マフラー

更なるパワーアップには弊社製各種マフラーをご使用下さい。

2 オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。

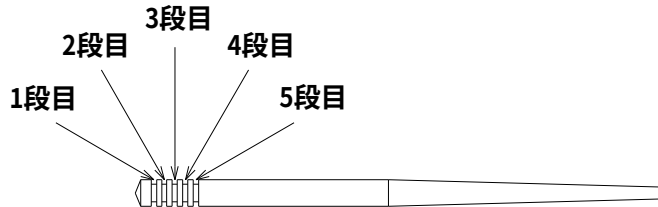
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度3/4-4/4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量3.0回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4-1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。

アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。